

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b><u>30</u></b>

事業所番号	2371001849
法人名	万博メディカルケアサポート株式会社
事業所名	グループホームやすらぎの里 中野新町
訪問調査日	平成20年7月9日
評価確定日	平成20年8月4日
評価機関名	福祉総合調査研究機関 株式会社 ヤトウ

**項目番号について**  
 外部評価は30項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

**記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [取り組みを期待したい項目]  
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。  
 [取り組みを期待したい内容]  
 「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年8月5日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2371001849		
法人名	万博メディカルケアサポート株式会社		
事業所名	グループホームやすらぎの里 中野新町		
所在地	名古屋市中川区中野新町三丁目51番地 (電話) 052-354-0050		
評価機関名	福祉総合調査研究機関 株式会社 ヤトウ		
所在地	名古屋市中区金山一丁目8番20号 シャローナビル7階		
訪問調査日	平成20年7月9日	評価確定日	平成20年8月4日

## 【情報提供票より】(平成20年6月10日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 18年3月16日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	20 人	常勤 11人, 非常勤 9人,	常勤換算 7.5人

### (2) 建物概要

建物構造	重量鉄骨	造り
	2階建ての	1~2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	21,500 円	
敷金	有( ) 円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有)( 300,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	(有) / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	600 円	おやつ	200 円
	または1日当たり		1,500 円	

### (4) 利用者の概要(平成20年6月10日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名	
要介護1	4名	要介護2	7名			
要介護3	5名	要介護4	1名			
要介護5	1名	要支援2	0名			
年齢	平均	81 歳	最低	63 歳	最高	96 歳
協力医療機関名	佐藤是医院					

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

東側は中川運河沿いに工場、倉庫が立ち並び、西側は市道名古屋環状線(太平通)、南側は国道一号線があるが、それぞれ100mほど離れているため騒音もなく、閑静な住宅街の一角に「やすらぎの里中野新町」は建っている。すぐ隣が提携病院であり、いざという時に即応できる体制となっている。半径500m以内に、公園、小学校、神社、寺、スーパーマーケット、ファミリーレストランがあり、バラエティに富んだ散歩コースが選択できるような立地条件が整っている。また、南側300mほどのところに三次救急対応の総合病院があり、提携病院での既往症治療と緊急時の対応とで医療面では不安なく過ごせる環境にある。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	昨年度の結果より、理念を地域密着型に見直し、カンファレンスの方式も変更し、さらにカンファレンスの回数も毎月行うようになり定着してきた。変更、改善事項は運営推進委員会で報告されている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員は自己評価を終え、文書化することに負担を感じ、自分のレベルでは答えられない質問があったと感じている。管理者はいい点も悪い点も評価によって明らかになり、改善につながれると実感している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	町内会長、民生委員、住民代表、家族代表、本社次長、管理者、計画作成担当者をメンバーとし、3カ月に1度開催している。「町内行事への積極的参加」「町内へのかわら版の配布」「ホーム周囲の花壇の設置」「町内の草取り」などメンバーからは活発に提案があり次々に実現している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族は来訪時や電話で意見、要望を伝えている。意見要望はミーティングで報告され即時に検討され、計画見直しも行われる。入居時にはホーム担当窓口、市役所、国保連の担当窓口が重要事項説明書に明記され、管理者から説明されている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入し、町内の清掃活動に励んだ結果、「ホームのお年寄りだけにやらせていいのかわからないのか」と、町内の清掃参加者が増えた。馴染みの喫茶店には入居者同士でよく出かけ、店主から「今来てますよ」と電話をいただくようになった。町内の祭りや防災訓練の見学もしている。

## 2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「その人らしくゆったりとした安らぎのある生活」を企業理念として掲げ、ホームの理念は昨年の外部評価の結果を受け、「笑顔とあいさつと助け合い、愛にあふれる中野新町」と、地域密着にふさわしい理念をつくりあげた。地域の人々が気軽に遊びに来てくれるよう、理念の実現に取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	採用時には管理者から理念が説明され、毎月1度の全体ミーティングでは全員で唱和、確認している。事務所入り口に理念が額装され、どこからでもよく見えるよう工夫されている。入居者が自由に外出し、地域の人々が気軽に立ち寄れるホームを理念の実現化と捉え、地域に溶け込む努力を重ねている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、町内の清掃活動に励んだ結果、「ホームのお年寄りだけにやらせていていいのか」と、町内の清掃参加者が増えた。馴染みの喫茶店には入居者同士でよく出掛け、店主から「今来てますよ」と電話をいただくようになった。町内の祭りや防災訓練の見学もしている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員は自己評価を終え、文書化することに負担を感じ、自分のレベルでは答えられない質問があったと感じている。管理者はいい点も悪い点も評価によって明らかになり、改善につなげられると実感している。昨年の結果を受け、カンファレンスの様式を変え、回数も毎月実施するように改善された。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>町内会長、民生委員、住民代表、家族代表、本社次長、管理者、計画作成担当者をメンバーとし、3カ月に1度開催している。「町内行事への積極的参加」「町内へのかわら版の配布」「ホーム周囲の花壇の設置」「町内の草取り」などメンバーからは活発に提案があり次々に実現している。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>生活保護担当者への報告、後期高齢者医療保険の担当者には保険の概要を聞きに訪ねている。定期監査は積極的に受け入れている。</p>		<p>生活保護に関する事項以外にも福祉、介護、保健に関する事項など行政が有する情報、ノウハウを取得するため定期的に訪問し、ホームの実情等も遠慮なく行政に伝え、行政の理解、支援につなげるよう関係づくりの取り組みに期待したい。</p>
4. 理念を实践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族会はないが家族は来訪時に意見、希望を職員に伝えている。ホーム便りは月に1度、家族に郵送している。リビングには行事の写真が掲示され、誰もがその様子をうかがい知ることができる。来訪時には金銭出納帳の確認もされている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族は来訪時や電話で意見、要望を伝えている。意見要望はミーティングで報告され即時に検討され、計画見直しも行われる。入居時にはホーム担当窓口、市役所、国保連の担当窓口が重要事項説明書に明記され、管理者から説明されている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動はあるが定期ではない。ユニットケア強化のため、1、2階全体で勤務シフトを組んでいる。ユニット間を異動する職員もあれば、両ユニットをかけもちする職員もいる。異動があった場合は家族に報告している。離職率も低く入居者は、両ユニットのほとんどの職員を知っている。各階には職員全員の名前付き写真が掲示されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<b>職員を育てる取り組み</b> 運営者は、管理者や職員を段階に応じた育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修は希望者を募り、勤務シフトを調整して参加している。就職時には新人研修を実施しているが職員のレベルに応じた研修計画はない。外部研修後は勉強会を開き、情報の共有に努めている。他のホームとの勉強会を開催したいと構想している。		
11	20	<b>同業者との交流を通じた向上</b> 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	名古屋市グループホーム連絡協議会に加入し、勉強会に参加している。グループワークの際に、他のグループホームと情報交換はしているが、実際の交流までには至っていない。法人のもう一つのホームとはイベントの開催時に入居者同士で交流している。		電話での情報交換、あるいは勉強会、相互訪問などの機会をつくり、サービスの質の向上に向けた取り組みに期待したい。
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<b>馴染みながらのサービス利用</b> 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居相談の後、予約、居室の用意ができるとホームへ見学に来ていただくか、本人の生活の場へ出向き面談をする。少しでも早く入居したいとの希望が多く、体験入居も行なっているが、ほとんど利用はない。健康診断書や家族にはセンター方式の書類を記入してもらい、情報の確保、信頼関係の構築に役立てている。職員間で各種の記録や情報を共有することで本人の理解に努め、生活が落ち着くまでは、家族に適宜協力(来訪、相談、電話など)を依頼し、その人のペースで徐々にホームに馴染めるよう職員が対応している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<b>本人と共に過ごし支えあう関係</b> 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	気持ちを汲み取りながら、入居者の立場にたった自立支援を基本としている。職員は人生の先輩として料理、家事全般で分からないことを入居者より教えてもらったり、疲れている時に優しい言葉や労いの言葉をかけてもらうことも多く、自然体で支えあっている。家族アンケートにも「笑顔が増えた」「顔の表情が穏やかになった」また「職員はとても生き生きしている」とあり、双方ともに良い関係が築かれていることがうかがえる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>できる限り対応できることは制限せず、いつも入居者本人の思いを大切に支援している。本人の日常生活の中で会話から思いや得意なことを活かせるよう入居者の視点に立った対応に心がけている。把握が困難な場合は観察に心がけ、いくつかの選択肢の中から選んでもらうことで思いを把握するようにしている。職員はセンター方式の「出来ること、出来ないことシート」を利用し情報の共有に努めている。</p>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居時、入居者の身体状況、今までの生活歴、本人や家族の意向を把握検討し、ケアプランを作成し、計画に基づいてケアしている。短期目標はその方の状態により、1、3、6カ月のいずれかである。家族には来訪した際に説明し、何か意見要望があれば計画に追加することもある。毎日の生活から様子を把握し、毎日夜勤者と早番でケアカンファレンスを実施、入居者一人ひとりの状況を職員が検討して計画を見直し、把握し、共有して介護計画に反映させている。ケアプランは生活記録のファイルに入れ、いつでも確認できるようにしている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎日の生活から様子を把握し、随時話し合っている。通常は短期目標の期間で見直しを行なっている。問題が発生した時や何か変化があればすぐにケアカンファレンスを行い、計画の見直しにつなげ、介護計画に反映させている。あまり変化が見られない場合は視点をかえ、計画の表現をより一層細かく再分化して「できること、できないこと」を見極め、計画を作成している。</p>		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>法人が介護タクシー事業を行なっており、病院などへの通院介助の際必要に応じて連携をとっている。入院時には面会に出かけケースワーカーと本人の状態を確認し、負担になるような長期入院の回避、早くホームへ戻れるよう早期退院へむけての話し合いなどを行なっている。入院時の居室の確保は2カ月を限度としている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ホームの協力医療機関が隣りにあり、本人、家族の同意のもと、かかりつけ医として受診を支援している。2週間に1回往診があり、診療時間内であれば急変にも対応可能である。特に家族の希望がある場合や専門的診断が必要な疾病の場合は、協力医療機関以外の受診も家族の通院介助で対応している。南方には掖済会病院があり、24時間対応の救急病院である。2週間に1回訪問歯科があるが、近くの歯科へ随時自分で通う方もある。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>「重度化した場合の対応にかかわる指針」を作成し、説明同意を得ている。提携医療機関の意向とともに、終末期については、個々のケースにおいて違ってくるので、早くからケアについて家族、職員間で病状の説明や話し合いを重ね、思いを受け止め、方針を決定し、最善を尽くしたいと考えている。現在できることを支援し職員間で統一した介護のもと、医師の指示や他の機関とも連携し、「ギリギリまでホームで過ごしたい」という方を介護している。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報使用同意書を作成し、入居時に同意を得ている。各種記録類は事務所で保管し、入居者名はイニシャルで記入している。礼儀を忘れない心遣いや言葉かけ、特に排泄、入浴時にはプライバシーに配慮しさりげない誘導に心がけている。職員間での会話でも入居者名を出さないようにしており、気づいたときにはその都度「気をつけるように」と話している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者が主人公となって暮らせるよう「どこかへ行きたい」との希望にはなるべく添うようにしており、時には入居者同士で近所の喫茶店へ出かけることもある。入居者はとても仲がよく、日中は共用空間で過ごすことが多く、思い思いのペースで生活している。相性もあるので何かあれば職員が見守り、気持ちの発散、理解に努めている。7月中旬には初めて家族の宿泊もおこなわれる予定である。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	動物園への遠足には手作りの弁当を持参した。朝食の時間に決まりはなく、訪問時にも11時頃、おやつの方と朝食の方が並んで食べていた。ひな祭り、端午の節句、七夕など季節にちなんだ献立も提供されている。夜勤者が献立をたてているが、入居者が自分たちで献立を決められるようにしたいと模索中である。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	午後からの入浴が多いが、希望があれば朝湯、就寝前の入浴にも対応している。日曜日は消毒のため入浴できない。特に希望がない限り最低1日おきに入浴してもらっている。拒否された場合は時間をあけて誘い、脱衣所まで行くと(その行為の流れによって)入浴だと理解して、そのまま入ってくれる方もある。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者はそれぞれ役割を分担し、買い物、調理の下ごしらえ、洗濯物たたみ、物干し、掃除、食事のあと片づけなど毎日こなしている。自分の部屋だけでなく、掃除ができない人の部屋まで掃除してくれる入居者もいる。7月には地域の人を招いての「やすらぎ祭り」を企画し、町内会長も親身になって手助けしてくれる。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	晴れていれば必ず外出する。車いすの入居者も連れだって全員で散歩することもある。自立の方は連れだって好きな時に喫茶店に出かけている。喫茶店ではホームを快く受け入れてくれ、散歩中に全員で立ち寄りすることもある。花見、遠足、バーベキューなど月1回はイベントを企画している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関には人感センサーが設置され、夜間を除き基本的に鍵はかけておらず、出入り自由である。職員の入替わり時には見守りを怠らないようにしている。予測できる行動には注意を払い、さりげなくお手伝いに誘ったり、一緒に外へ出かけたりして気分転換している。ココセコム(携帯GPS)を導入し、外出時にはかばんの中に入れて持ち歩き、居場所確認をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は平成19年度には実施されているが、今年度は計画されていない。消火設備は消火器、自動火災報知設備、火災報知設備、スプリンクラーが設置されており、年1回点検している。今後、地域の協力を得られるように、避難訓練や消火訓練への参加を積極的に呼びかけていくことを期待したい。紙食器、名札、ラジオ、水、乾パンなど3日程の備蓄もされている。		避難訓練は防災頭巾も使用し、災害時に慌てず、確実な避難誘導ができるよう職員と入居者が一緒になって定期的の実施されることを期待したい。また、各種マニュアルや手順書の整備や防災管理者の選任もされたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の量は毎食チェックし、飲量に関しては必要な方のみ白抜きで表示されチェック漏れがないよう工夫されている。水分は1日1リットルを目安にしている。便秘対策として運動、乳製品、野菜などを提供し、週に1度は体重、血圧、体温などをチェックしている。		食事の栄養バランス、1日の摂取カロリーが把握できるよう、栄養士など専門職の関与の取り組みに期待したい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、建物周りには季節の花々を植え、明るい雰囲気づくりをしており、近隣の方々とのコミュニケーションにも役立っている。廊下やフロアには職員と入居者とで作った七夕飾りがあり、季節感が味わえる。ソファで寛いだり、冬にはコタツでの暖も楽しめる。開放的な台所には水回りが2カ所あり、洗い物など家事に参加しやすく、家庭的な雰囲気をつくりだしている。床はクッションフロアで手摺りも完備している。庭ではトマト、きゅうりなどを栽培し、『育てる喜び』と『日々の食事に生かす喜び』を感じている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、エアコンと照明、鏡、レースのカーテンのほか、押し入れ兼クローゼットが常設されている。使い慣れたタンスや小物入れ、テレビなどが配置され、壁には家族の写真等が飾られて家庭的な雰囲気づくりがされている。ライターの持込は禁止なので、仏壇を持ち込まれている方については、火の管理を職員がしている。冬場はコタツの使用を可としている。夜間部屋間違えのトラブル以後、就寝時のみ部屋の鍵をかける入居者もある。		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。